

平成 26 年度第 1 回岸和田市介護保険事業運営等協議会会議録
第 1 回岸和田市地域包括支援センター運営協議会会議録
第 1 回岸和田市地域密着型サービス等運営委員会会議録

<p>【案件】</p> <p>(1)①第 6 期介護保険事業計画策定に係るアンケート調査結果について ②第 6 期介護保険事業計画策定スケジュール(案)について</p> <p>(2)平成 26 年度地域包括支援センター実施方針及び事業計画について</p> <p>(3)複合型サービス事業所整備に係る事業者の公募について</p> <p>(4)地域密着型サービス事業所の指定・更新について</p>	<p>【日時・場所】</p> <p>平成 26 年 5 月 28 日(水)13:55～16:15 岸和田市職員会館 2 階大会議室</p> <p>【出席委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大塚委員・出水委員・金本委員・松谷委員 ・ 岡野委員・杉本委員・吉田委員・南委員 ・ 山田委員・和田委員・皆見委員・野内委員 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北本介護保険課長・西河介護保険課調整参事・石原介護保険課担当主幹・井出介護保険担当主幹・中野介護保険課担当主幹・庄司福祉政策課担当主幹・西川広域事業者指導課担当主幹・岡田健康推進課担当主幹 ・ 田中（地域包括支援センター社協） ・ 大浪（地域包括支援センター社協久米田） ・ 休場（地域包括支援センター萬寿園葛城の谷） ・ 西村（地域包括支援センター萬寿園中部） ・ 丸山（地域包括支援センターいなば荘北部） ・ 渡辺（地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷）
--	---

司会…事務局

事務局自己紹介…平成 26 年 4 月 1 日付の人事異動により変更有り。

事務局…それでは、ただいまより平成 26 年度第 1 回岸和田市介護保険事業運営等協議会、地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス等運営委員会をはじめさせていただきます。まず、本日の委員出席状況をご報告します。出席委員は 12 名です。岸和田市介護保険事業運営等協議会規則第 6 条第 2 項の規定により、本会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。

それでは、本日の案件に入らせていただきますが、この会議は公開となっており、また会議録は後日公表することになります。ご発言の際はマイクを使用させていただきますようお願い申し上げます。それでは、大塚会長に議事の進行をお願いいたします。

会長…お久しぶりでございます。介護保険制度が始まったのは 2000 年ですが、介護保険では半分は税金、半分は保険料を使っています。保険料は 65 歳以上の人と、40 歳から 64 歳までの人で賄っています。全体で 4 兆円から 4 兆 5 千億円ぐらい使っている。来年度から第 6 期が始まります。1 期が 3 年で、ただ今 5 期進行中ですが、第 6 期からは介護保険の財政が大きく逼迫するといわれておりますし、それに伴い保険料も上がってまいりますので、何とかしないとイケないと言われております。5 月 15 日に来年度の介護保険法改正案が衆議院で通りました。おそらく参議院でも通ると思われませんが、その案の中で要支援 1、2 については介護保険給付外とし市町村レベルで行う、また特別養護老人ホームについては、原則介護度 3 から入所する、ということになるようです。財政抑制ということでしょうか。今のところ自己負担分は 1 割ですが、今の案では年金収入 280 万以上の方は 2 割の負担の増となっています。これが、膨れ上がった保険料をどうするか、ということです。それでは、早速ですが、お手元の案件によりまして案件 1、まずは 2 つございまして、1

つ目、「第6期介護保険事業計画策定に係るアンケート調査結果について」、これは計画策定をする前には市民の方々のご意向をアンケート調査するというのが原則でございますので、そのアンケート結果をご報告、その次に「計画策定スケジュールについて」、ご報告いただくということで、よろしくお願いします。

事務局…配付資料に基づき、策定支援のJMC担当者がアンケートの概要・結果について報告。

会長…ご意見、ご質問ございますか。

委員…アンケート結果は公開されますか。ホームページ等からダウンロードできるようになりますか。

事務局…電子媒体はありません。ホームページへのアップ等は現在行っておりません。今後、計画策定に向け資料としてはあげていくわけですが、最終的には計画に含めていくことになりかと思っています。

会長…質問の意図はどういうことですか。公開した方が良い、ということですか。

委員…はい、公開すべきと考えます。個人情報も入っていないので、全市の基本的な資料で役立つと思いますので、ダウンロードできるようにすべきだと思います。

事務局…製本等の予定は現段階ではございませんが、要望等あれば検討していきます。

委員…市のいろんな事業でダウンロードできるようになっていると思います、それはそんなにお金もかからないので、ぜひ検討いただきたいと思います。

委員…それから、認定者調査の対象は、本人ですか。それとも家族、介護者ですか。介護度が3、4、5となると、なかなかご本人の回答は難しくなってくるかと思いますが、何か区別はしていますか。

事務局…原則は本人様が回答していただいております。状況によっては家族様がされている場合もあると思います。

委員…その場合は無回答ではなく、家族様からの回答としているのですか。

事務局…そうっております。

委員…暮らし住まいの状況、3ページの認定者調査に「その他（施設入所など）」というのが3分の1あるのですが、一方、住まいの種類の認定者調査の中では、それを示唆するような資料は出ていない。8ページの数値からは先ほどの施設入所3分の1が読み取りにくい。ということは、もともとどんなところに住んでいましたか、など現状に対する質問ではないのかなと、思いました。

会長…皆さん他にご意見はないですか。少々膨大な資料ではありますが、これを基にして第6期の計画を立てるという前提でございますので、しっかり認識していただきたいと思います。他市との比較とか、全国平均との比較とか、生活圈域間でなど、ずいぶん違った数字があるなどといったことはございませんでしょうか。まだ、そこまでは検討していないですか。私が心配なのは計画なのでどこも同じサービスであろうけれども、少し住民意思が違うな、というところがあればお教え願いたいのですが、ご検討されていませんか。また何かありましたらまた、次回以降に報告願います。まあ、全体的には、全国平均とそう大きく変わりはないと思うんですけどね。皆様いかがでしょうか。

次にもう1つの議案第6期の介護保険事業計画策定スケジュールについてご説明願います。

事務局…資料にそって、策定スケジュール及び協議会の開催予定を説明する。

会長…はい、わかりました。協議会の開催が今年は4回ということで、今日の5月、9月、11月、2月です。これにつきましては了解いただけますでしょうか。よろしくお願いします。続きまして、案件2「平成26年度地域包括支援センター実施方針及び事業計画について」の説明をお願いします。

事務局…地域包括支援センター社協の担当者が平成26年度事業計画共通目標項目及び社協の実施方針及び事業計画について説明。その後、各地域包括支援センターの担当者がそれぞれの

特徴的な部分について報告。

会長…今の報告を受けまして、ご質問、ご意見ありますか。

委員…各支援センターにおいて重点項目をあげていただいておりますが、これは、あくまで計画なのか、いままでも行ってきていただいていたとは思いますが、何か実例を挙げていただけますでしょうか。それをもって、この計画になっているのかなあと思うのですが、どこのセンターでもよいのでお願いします。

事務局…日頃から、皆さんからの相談を受けています。地域におけるネットワークの構築ということでは、日頃から民生委員さん、町会長さんたちとお話をし、会議等に参加して関係を築いていっております。その中で実際に、近所や地域に心配な方がいる、ということがありましたら、そういう情報をうけて、訪問させていただく、そのときには、誰から聞いた、ということではなく、「地域の包括支援センターなので一人暮らしの方を訪問させていただいております…」といった感じで、その中で実際に相談がありましたら本人様の相談だけでなく、それ以外の方の、関係機関の相談も包括として受けさせてもらっています。といったところでネットワークを活用しています。

委員…そうではなくで、こういうことがあったから、こういうことをしました、という事例はないのですか。こういう発見があって、とか、こういう活動をしていて、こういう人が見つかって、その人にこういうことをした、いわゆる個別支援ですよ、それはないのですか。どういうことを実際にしたかということを知りたいのです。

事務局…民生委員さんからの相談で、ご夫婦でお暮しだが、ご主人の顔を2年ぐらい見ていないので、本当に実際におられるのか、ということで、民生委員さんたちと相談をし、警察のお世話で確認をし、実際にお元気でおられた、ということがありました。

委員…そういう事例で、ほかに支援が、実際にこういうことをしたというのはいないですか。

事務局…よくあるのは「ごみ屋敷」で、ごみ屋敷はなかなか入り込んでいけない、意外と介護保険の拒否も含んで、拒否の方が多いので、その場合は地道に、地域の方の連携をいただきながら対応させていただき、少しずつ関係を築き、本人様の権利擁護という部分もあるので、全部ごみです、とはいかないので、そのあたりを日頃からの連携の中で、皆さんと協力しながら、ヘルパーさんの介入に至って、きれいになったというのはどこの包括もあると思います。

委員…わかりました。ありがとうございます。同じように、こういう活動を続けていただいて、より多くの方の支援ではないですけれども、把握していただいて、何らかを講じていただくようお願いします。

会長…本日は、年度初めで、最初の説明もあり少し長くなりましたが、予定では4時ということですが、10分ほど遅れると思われそうです。どうしてもという方はご退出いただいても結構ですが、少しでも時間の延長をお願いしたいと思います。

委員…各圏域でそれぞれ様子は違うと思いますが、頑張ってくれていますし、報告していただいたのですが、アンケート調査のところでは、地域包括支援センターの認知度はまだまだ低い、努力していただいている割には、知られてないかあとと思うので、これからもっと頑張ってくださいと思います。医療と介護の連携など、だんだんと在宅で過ごす方になってきていますので、地域包括支援センターの役割はだんだんと重いものになってくると思います。頑張ってください。

消費者被害への対応について挙げていただいている包括もありましたが、高齢者のそういう被害がすごく多いので、そういうことに取り組んでいただくのはありがたいと思います。権利擁護事業とか成年後見制度とかありますけれども、なかなかそういうところまでは進めなくとも、消費者被害への対応ということで、目をかけていただくということはありがたいと思っております。

それからアンケートにもありましたが、個人情報を知るといことは難しいと思いますが、民生委員さんと地域の高齢者の状態を調べていただいている、というのがありましたが、いいことだと思います。お願いばかりですがこれからいよいよ地域包括支援センターの役割は大切に、また重いものになってくると思いますので、よろしくお願いします。

会長…地域包括ケアシステム、これは2025年あと11年後に団塊の世代の方が75歳に達する、その時期に介護、介護予防、医療、生活支援サービスなど5つのサービスを上手に組み合わせ、包括的に継続的に、しかも何かあった時には30分以内にケアする。そのためには、地域の、住民の助け合いが必要になってくるのですが、その中心になっていくのが地域包括支援センターなんですね。行政、住民、専門職のネットワークとありますが、その中心になっていくのは地域包括支援センターだと思っていますので、今後も大変なお仕事ですけれども、NHKが最近よくやっていますが、認知症の方々の徘徊で、年間1万人が徘徊している。意外と見つかるのが家の近くの1キロ未満で亡くなっているとか、大きくとも5キロ以内で徘徊されているということで、住民が少し気を付ければというところで、その中心になってくるのが包括支援センターなんですね。チーム力で住民の命を守るということでしょうか、今後とも大変なお仕事ですけれどもよろしくお願いします。

個人情報についても誤解がありまして、個人情報は、絶対に秘密ということではなく、命に係わる場合には解除になります。付け加えておきます。

続いて、3番目の案件「複合型サービス事業所整備に係る事業者の公募について」を説明願います。

事務局…配布資料に沿って募集内容及びスケジュール、選考評価基準について説明。

会長…何かご質問ありますか。

委員…複合型サービスってなんですか。

事務局…地域密着型サービスの中で小規模多機能型居宅介護というのがありまして、これは、在宅の通いと訪問と泊まりのサービスを1つの事業所でできるというサービスで、これに訪問看護を加えた形で行うのが複合型サービスです。

会長…基本は小規模多機能型、ということですか。

事務局…そうです。

会長…現在、小規模多機能型は介護報酬が少し低いということで、なかなかですが、1つでも多くの事業者が応募されることを願っています。

これにつきましては、よろしいでしょうか。

それでは、もう一つ案件がございますので、案件4「地域密着型サービス事業所の指定・更新について」をご説明願います。

事務局…追加資料の説明をしたあと、変更点、新規事業所等について説明。

会長…ご質問等いかがですか

特別養護老人ホームの指定は都道府県がやっておりますが、平成18年度から地域密着型サービスということで市町村が指定するミニ特養など、地域密着型サービスということで指定する権限が下りてき、新たに募集しようということになりました。

何かご意見ないですか。

ご意見がないようですので、さきほどですね、コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）について、NHKが毎週火曜の10時からCSWについてのドラマをしています。もともとは豊中市がモデルです。あと1回ですが、よろしければご覧ください。情報提供しておきます。

案件についてはこれで終わりますが、各委員さんから1言、願います。

委員…地域包括支援センターがごみ屋敷への対応をしてくれるとは知らなかった、われわれ近所が対応すべきと考えていますので、センターはもっと専門的なことをするものだと思って

いたので、そういうこともしてくれるのだと、勉強になりました。

委員…地域包括支援センターの役割をあまり理解していなかったのですが、去年の10月に社協久米田ができて、いろいろとパンフとかポスターなどよく宣伝してくれるので、やっと我々の地区も徐々にわかってきた。そういうふうにごんごん宣伝してもらえれば、高齢者の需要はあるし、また町会も相談もできる、知らなかったというアンケートの結果もあるが、宣伝はとても大事であると思います。

それから文章の中で民生委員に対して調査するような文言になっていると感じるので、この人たちは町の代表でボランティアなので「聞かせていただく」という、表現にしてほしい。

委員…センターには本当に感謝している。これからの課題として、介護者への支援もお願いします。

委員…包括センターはあまり知られてないですね、確かに知らないだろうなというのも少しありましたが、コツコツやっていたらいいのですが、もっとPRの方法を、いっそテレビ広告を出してしまうとかもありかあなど、思います。岸和田テレビもありますので費用をかけないやり方もあると思う。また圏域ということがすごく大事だと考えていますので、各圏域でどんなことが必要かというのを吸い上げていただいて、すごい大変だと思いますが、事業所も協力していきますので、よろしくをお願いします。

委員…感想は皆さんと一緒にですが、質問があります。ミニ特養は3ヶ所になっていますが、もう1ヶ所というのはいつから工事が始まって、今年度中には開設しないといけないとは思いますが、大体いつの予定になっていますか。

事務局…1つ遅れておまして、具体的な報告はありませんが、4月の末に入札が行われましたので、年内までには完成と考えています。

委員…天神山地区でしたかね。

事務局…旭・太田地区です。

委員…地域包括支援センターの事業計画を見せていただいて、最初は共通ですが、6地域になって特色がでてきていると感じます。特に「居場所」という言葉を耳にしました。主として1つの役割とすれば専門職の教育とかネットワークづくりが大切だと思いますが、別の面で地域との密着とか真の包括ケアということになるかと思いますが、その辺で、今日始めて聞いた居場所というのを、ぜひ、包括がすべからくではないが、地域の人たちとか、いろいろな民間に人たちとかと、協調してやっていただければ地域も良くなっていくのではないかと思います。これからもよろしくをお願いします。

委員…会長が言われたNHKの番組があったおかげで、何年かホームで身元不明で預かっていた方が何年後かにご主人が迎えに来られたということがあったり、すぐ近くの壁の隙間で亡くなっていた高齢者がおられたというのがありましたが、地域の方々の状況をすべてじゃないですけど個人情報も含めて把握していただいて事故のない地域になるよう、活動していただければと、お願いですが、よろしくをお願いします。

委員…人間どんな状態になりましても食事というのは大事で、咀嚼嚥下、そういうお話、講習を事業所をまわりまして、介護予防、および入所者の口腔ケアのお話を1年で12ヶ所まわろうという事業を始めたいと考えておりますので、よろしくおねがいします。

委員…お手元に1枚資料を置かせていただきましたが、昨年度から在宅医療推進事業として、医師会を中心に三師会、多職種で研修、事業等を行っておりますが、そういうところで、ひとつインターネットでのポータルサイト、例えばこの圏域に在宅酸素で対応してくれる病院があるだろうか、とか検索ができる、また、この有料老人ホームは看取りをしてくれるのかな、などそういう情報を充実させているところです。

モデル事業の報告を見ていただくと、何をやっているかわかっていただけるとと思います。

また今年度は名前が変わりまして在宅医療連携推進拠点事業。となりまして、進めていつております。また見ていただいて、ご要望がありましたら、よろしく申し上げます。

会長…ありがとうございました。

地域包括支援センターの認知度が低い、といわれていますが、以前に比べますとずいぶんと知られるようになったなあというのが実感です。まだまだ多くの方々をご存じないのですが、特に関係する家族の方々にとっては、今や、ほんとに頼りにされているところです。あと、私自身は高齢者問題が中心ではありますが、気になるのは、少子高齢化社会ではなく超少子超高齢社会ですね、新聞を見ていると20~39歳の女性がいなくなる市町村がやがて900になると言われています。900の市町村が赤ちゃんを産むお母さんがいなくなるということです、驚くべきことです。日本には約1800市町村がありますので、半分が赤ちゃんを産むお母さんがいなくなるということです。私たちは高齢者を担う若い方の次代についても考えご議論願いたいと思います。若い方のことも考えて、介護保険料が上がるのは、個人的には嫌だが、若い方に負担はかけたくないということで、またいろいろとあると思うのですけれどもね、今回は報告事項が多かったのも、あまりご意見をいただけませんでした。次回以降は、なるべく委員さんからご意見ご指摘をいただけるように心がけますので、今日の案件は終了したと理解しております。次回についてご確認したいのですが、事務局からは何かないですか。

事務局…包括支援センターの周知についてですが、半数ぐらいが知らないアンケートにもありましたが、昨年度もパンフレットやポスター等作成し、医療機関、民生委員等にご協力いただきましたが、今年度もパンフレット等で、1番有効な方法で、例えば町会の回覧等考えております。それとこの間、先ほどご指摘もありましたが、テレビ岸和田の活用についてですが、市の方として広報広聴課とテレビ岸和田としている事業の中でテレビ市政だよりというのがあり、6月2日から1ヶ月間、15分ぐらいの番組で実際の包括の方が出演し、ドラマ仕立てで、相談からサービスを利用するにあたってを、そういった分かりやすい形でのPRをさせていただいています。周知については、今後もしていきたいと思っております。

会長…介護保険はとてネーミングは下手である。介護保険は長くてそのままのネーミングである。学校、警察、市役所、保健所など分かりやすいが、介護保険はわかりにくいのが多いです。長くて覚えられません。

次回は9月24日（水）でお願いしたいかと思いますが、いかがでしょうか。

ご了解いただいたということで、よろしく申し上げます。

特段のご意見ございましたら、これで散会といたします。